

就職活動体験

氏名：H. I. F

所属：秋田大学大学院理工学研究科

数理・電気電子情報学専攻

数理科学コース

自己紹介

- 出身：中国
- 2022年4月に秋田大学大学院 理工学研究科
数理・電気電子情報学専攻 数理科学コース
に入学
- 現在：メーカーから内定を得た

内定先企業の業界

- 内定先はゲームメーカー業界である。
- ゲームメーカー業界は、ビデオゲームやコンピューターゲームを開発・制作する企業や組織の集まりのこと。
- この業界では、ゲームの企画、デザイン、プログラミング、グラフィックス、サウンドなどの要素が組み合わさり、さまざまなタイプのゲームが生み出される。

日本で就職活動の進め方

- 大学院1年次の8月から就職推進担当に相談するところから就職活動を始めた。
- それから年末までいくつかの会社のインターンシップと説明会へ参加した。
- 12月から、エントリーを始めた。
- 会社の応募要項により、プログラミングやSPI適性検査、そしてゲーム作品を準備していた。
- 大学院2年次の6月末に内定を受けた。

日本での就職活動で苦勞したこと

- 一番苦勞したのは適性検査の準備と、連続で会社から不合格を受けたことだと思う。
- SPIやCAB・GAB適性検査は、日本語が母国語でない人や日本語に苦勞している人にとって非常に困難なものだろう。
- 連続で会社から不合格を受けたことはしかたないことですが、やはり心に大きなダメージを与えます。しかし、気持ちを切り替えていけば、最終的には良い会社に出会うことができると思う。

アドバイス

- しっかりと就職推進担当の職員と相談することが重要だと思う。そうすれば、具体的なアドバイスをもらうことができる。
- 日本語能力や適性検査、応募要項が求める内容にしっかりと準備することも重要だと思う。困難なことかもしれませんが、近道はないと思う。
- 自分の心を整理し、就職に関わる様々な困難に直面した場合、まずは自分自身が打ちのめされないようにすることが大切である。

ありがとうございました